

一般質問

川下
議員

○情報インフラ整備について

質 光回線はADSL回線に比べ通信速度も速く、容量も大きいうえに環境に左右されない安定感がある。

このような情報インフラを整備する事は、暮らしの利便性向上と魅力あるまちづくり、企業誘致に向けた宣伝力アップ、更にテレワークと呼ばれる新しい就業形態による雇用や起業の創出などの契機につながる。すなわち本市の地方創生における総合戦略や中長期的な総合計画の基盤となるものであり、早急に整備すべきと考える。本市における光回線エリアの現状についてお尋ねします。

答 通信事業者に確認したところ、一般で光ファイバー回線が使えるのは、志佐と調川の一部だけです。本土と福島、鷹島間にも整備されておりますが、回線は一般に提供するだけの余裕がないとことです。

質 支所まで光回線が届いている福島と鷹島での今後の展開を伺います。

答 市内の各地区間で格差がありますので当然解消していかねばなりません。行政だけでは経費負担等の問題がありますので、通信事業者

と連携して協議し、解消が図られるよう検討してまいります。

質 松浦市全体としての今後の展開についてお聞きしたい。

答 市全体が、都市部との情報格差がないように取り組まなければなりません。市として格差解消にどういう整備が必要なのか、現在、まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で施策として組み入れることができないか検討しております。

○松浦高校と松浦市の関わり方について

質 松浦高校は本市における唯一の高校ですが、入学者数も減少傾向にあり、本年7月の段階でも志望者数は定数の半分を下回っている状況である。市としても松浦高校に積極的に働きかけ、協力して志望者増と入学者増に向けて取り組むべきと考えるが、市長はどのようにお考えか。

答 松浦高校の課題は、松浦市全体の課題でもあります。いま取り組んでいる支援策の検証を行い、また魅力向上に関する様々な提案を頂きながら、学校とも積極的に協議をしていきたいと思っています。

これまでは、保護者の経済負担軽減を支援の柱としておりましたが、今後は生徒にも選ばれる魅力ある学校づくりに視点を移した支援制度も検討してまいります。

一般質問

森田
議員

○道徳教育について

質 現在、市内の小中学校の道徳教育や道徳の授業時間の現状はどうなっているか。

文部科学省は本年3月27日、小中学校の道徳教育を教科に格上げする新学習指導要領を告示されたところです。実施は、小学校が平成30年度から、中学校が31年度から導入されます。

道徳教育に対して、各小中学校にどのような指導をしていかれるのかお尋ねします。

答 現状におきましては、学習指導要領に基づき、年間指導計画を作成し、全ての学級で週1時間、年間35時間以上を実施しています。また各教科や特別活動の中でも道徳的な指導を行っております。

新たな指導要領に基づく指導内容としましては、特別の教科道徳の導入経緯と趣旨を理解することや指導体制の見直し、教職員の指導力向上が必要で、また授業の評価や家庭と地域との連携の強化が求められるものと現段階では考えております。

○高齢者等わくわく・おでかけ支援事業について

質 この事業は、平成24年度から始まり今年で4年目となります。

この事業の支援の内容について、以前から御厨、星鹿、青島等の複数の高齢者からは、鷹島や福島の温泉にはあまり入りには行かないので、その分、外出支援の方を増やしてもいいか、という意見をお聞きします。この要望に対して、前向きに見直しを検討して頂けないかをお考えをお尋ねしたい。

答 ご質問の趣旨は、外出支援券と入浴優待券を見直したらどうかとお尋ねですが、この事業は高齢者の皆様の社会参加、あるいは健康増進を目的とする制度でありますのでご理解頂きたいと思います。

ただ、ご指摘がありますように、費用対効果を含めて検証し、この制度も見直す必要もあるかと思えます。ご高齢の皆様に対し、長年のご苦勞への感謝の念と、これからも健康で楽しく住み慣れた地域で安心して住んで頂くためには、検証していく中で、市としてどのような支援が望ましいのかを見極める必要があります。そして高齢者の皆様に喜んで頂けるような見直しを行わなければならないと思っております。